

優良取組事例、最優良取組事例・特別賞の選定について

1. 昨年度

(1) 最優良取組事例選定委員会設置（2018年度 第2回運営委員会）

- 委員会が環境大臣賞下付申請での「行事の主催者」となるため下付申請前の設置が必要。
- 選定委員会の構成（委員長1名、委員3名）の決定。
- 最優良取組事例選定委員会に係る設置要綱作成。

(2) 実施した手続き

- 最優良取組事例選定委員会設置優良取組事例に対する環境大臣賞下付申請
- 取組事例集の作成

(3) 優良取組事例応募、受賞件数

応募期間：2018年10月22日～12月20日（2019年1月17日まで延長）

応募事例数：25機関・事例（1機関1事例）

環境大臣賞 総合部門／環境大臣賞 総合部門特別賞

環境大臣賞 地域部門

運営委員長賞 2件

2. 今年度のスケジュール等

(1) 最優良取組事例選定委員会設置

- 委員会が環境大臣賞下付申請での「行事の主催者」となるため下付申請前の設置が必要。
- 選定委員会の構成（委員長1名、委員3名）の決定。
- 最優良取組事例選定委員会に係る設置要綱作成。

(2) 最優良取組事例に対する環境大臣賞下付申請

- 優良取組事例募集や選定を含めた環境大臣賞を下付する制度の承認を求めるためのものであり、優良取組事例応募開始前には申請する必要がある。

必要な書類

- ①下付申請書（共同運営委員長の押印必要）
- ②選定委員会設置要綱
- ③環境大臣賞の賞状文書
- ④優良取組事例募集要綱

(3) 優良取組事例募集

募集期間：2019年10月中旬～12月下旬

選定の観点：

- 21世紀金融行動原則の7つの原則を踏まえ、特に金融機関としての本業に即した取組で、優れたものを優先して選定する。選定基準は、以下のとおり。
 - ・先進性がある。
 - ・汎用性がある（他の金融機関のモデルとなる）
 - ・独自性がある。
 - ・地域性がある。地域経済の発展につながる。
 - ・本業に即した取組である。
 - ・国内外への広がりがある。
 - ・実績（販売数や販売額等）がある。
 - ・多様なステークホルダーと関連している。地域性がある。
- 最優良取組事例の選定に当たっては、21世紀金融行動原則の7つの原則のうち、原則1及び原則2に沿った取組となる事例が優先される（**環境要素を取り入れた本業取組が優先される**）。
- なお、環境大臣賞（地域部門）に関しては、前項に加え「地域性がある」「地場産業発展への貢献につながる」等の選考基準を中心として特に優れた事例より選定する。

応募書類：・応募申込書（様式あり）

- ・添付書類（追加書類）パンフレット等自由だが、審査する者（事務局、選定委員会、共同運営委員長）との共有のため、原則として電子ファイル。

（４）今年度のスケジュール ※下記スケジュールにおいて、運営委員会の決議が必要な場合は、運営委員会開催時期の調整または臨時運営委員会の開催

2019年

- 8月
- ・選定委員の候補選定。選定委員会設置要綱作成。
 - ・環境大臣賞下付申請

- 10月中旬
- ・優良取組事例応募受付開始

- 12月下旬
- ・優良取組事例応募受付終了

- 12月下旬
～1月
- ・最優良取組事例 第一次審査（事務局）
 - ・特別賞審査（共同運営委員長）～2月中旬

2020年

- 2月
- （12日）・最優良取組事例選定委員会開催（最終審査）
 - （下旬）・最優良取組事例（最大2事例）、特別賞（2事例程度）決定
 - ・賞状作成・押印

- 3月4日
- ・定時総会にて最優良取組事例（環境大臣賞）、特別賞（運営委員長賞）表彰

【参考】過去の受賞取組事例と署名金融機関

・2014年度 環境大臣賞

「グリーンATMによるカーボン・オフセットの取り組み」（株）第四銀行

・2015年度 環境大臣賞

「東南アジアでの『天候インデックス保険』の提供」損害保険ジャパン日本興亜（株）

・2016年度 環境大臣賞

「あましんグリーンプレミアム」尼崎信用金庫

・2017年度

環境大臣賞（総合部門）「資産運用におけるESG投資」第一生命保険（株）

（地域部門）「地域資源を活用した木質バイオマス発電事業への取組み」（株）北都銀行

運営委員長賞「7色の虹を千葉から未来へ～千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト～」(株)京葉銀行

「地域活性に資するNPO団体・ソーシャルビジネスへの総合支援の取組み」西武信用金庫

「子ども向け環境情報誌『JUNIOR SAFE』発行」（株）三井住友銀行

・2018年度

環境大臣賞（総合部門）「金融サービルの通じたSDGs達成への貢献～SDGs推進関連商品の開発・普及～」(株)りそなホールディングス

（総合部門 特別賞）

「SRIファンドのパイオニア『損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）』20年に渡る高パフォーマンス運用」

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント(株)

（地域部門）『しがぎんSDGs宣言』を起点とした、社会的課題解決に向けたビジネスモデル創出支援の取組」（株）滋賀銀行

運営委員長賞「野村グループの総合力を活かしたESG投資の取組」野村證券(株)

「J-REIT初のグリーンボンドの発行」三菱商事・ユービーエス・リアルティ(株)

以 上